



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域特産品 ブランド化による地域活性化

朽尾 圭亮 (とちお けいすけ)

株式会社 船井総合研究所 地方創生事業グループ グループマネージャー



○ 登録者情報

所在地

東京都千代田区

略歴

- 2001年 慶應義塾大学 総合政策学部卒業
- 2004年 慶應義塾大学 大学院 政策メディア研究科 修了
(大学院 在学中にトルコ ボアジチ大学へ一年間の留学経験あり)
- 2004年 株式会社 船井総合研究所 入所
- 2005年 地域活性化に関する専門部署 設立
- 2010年 総務省 地域再生マネージャー 認定
- 2011年 総務省 地域力創造アドバイザー 認定
- 2016年 経済産業省 中企業診断士 認定

著書・論文等

【論文】

- ・「自治体を中心とした地域連携. 欧州を事例として」『地域経済研究』(広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター紀要)第.15号
- ・ 第1回JBIC(日本国際協力銀行)大学院生論文コンテスト 優秀賞
「国境地域における内発的的地方開発 ータウン・トゥイニング・プロジェクト エギロスを事例としてー」

【メディア】

- 2010年7月 TBS ひるおび 「離島グルメに関するコメント」
- 2010年10月 TBS ひるおび 「B級グルメを通じた地域活性化に関するコメント」
- 2014年1月 TBS Nスタ 「茨城に設置されるまちおこし関連施設へのコメント」
- 2014年6月 朝日TV 相葉マナブ 「隠れたご当地グルメ紹介 監修・出演」

○ 地域特産品 ブランド化による地域活性化

取組の内容

2007年より滋賀県製麺組合がブランド化を試みていたうどん「近江うどん 三方良し」のブランド化アドバイザーとして活動を行いました。同うどんは滋賀県産小麦「ふくさやか」を100%使用したうどんです。アドバイス業務では地域農産物を活用した加工品の開発、及び販路獲得、販売促進に向けて二人三脚で歩んでまいりました。

アドバイザー就任時には、年間およそ2万食程度が販売されていましたが、事業採算性があわず、事業からの撤退も考えられていました。

そこで製麺組合、及びアドバイザーとして、ターゲットを含めた商品開発の見直し、新規販路開拓、さらに告知、販売促進活動の充実を図るよう試み、ターゲットを地域住民から変えるよう試みました。

また2011年度には日本で初めてとなるご当地うどんの全国グランプリ、「全国ご当地うどんサミット」を東近江市に開催し、ご当地うどん文化全体の振興へつなげることで近江うどんのブランド化を試みました。

実績

同活動の結果、初年度から10店舗の販路を獲得することに成功し、年間2万食だった売上が10万食程度に拡大しました。さらに観光への進出にメディアが注目した結果、地域住民からの注目も高まり、滋賀県のほぼ全域の学校給食にも提供されるうどんとなりました。現在では、当初の売上の15倍である30万食が毎年提供されています。

また第一回ご当地うどんサミットを開催した結果、合計1.5万人の来場者が集まり、近江うどんのみならず、地域そのものも活性化しました。その後近江うどんはカップうどんとしても開発され、滋賀県内で売り出され年間1万食程度が販売されています。

当初のターゲットを大幅に変更し、ブランド価値を上げた結果として地域からも認知されるに至った点は大きな誇りです。

工夫した点や苦労した点

観光関連にターゲットを変更した結果、販路として新たな飲食店の開拓が課題となりました。しかし多くの飲食店においては、儲かる商材でないと販路開拓はできません。よって初期段階における観光客向けの告知や販売促進活動は製麺組合で行う必要がありました。当初、告知や販売促進についての重要性は軽視されがちであったため、仕組みづくりや実行は苦労を伴いましたが、メンバーの積極的な協力のもと成功することができました。

ひとことPR

私の地域活性化コンサルタントとしての特徴は「現場で共に動くこと＝実働型アドバイス」にあります。机上で物事を考えるのではなく、開発の現場にまで踏み込み、皆様と汗と涙を流しながら活性化を成し遂げることが最も重要であると考えています。経営コンサルタントとして数字は重要視しますが、それ以上に大事なことは地域、そして人が感動する場面を作り出すことです。地域の皆さんと感動できる場面をつくり出すことができるよう現場で一緒にできることを楽しみにしています。



特産品協議会でのひとコマ



特産品プレス発表の様子

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

地域ブランド創造チーム Web	http://www.machiokoshi.net/
地域活性化コンサルタント日記	http://blog.livedoor.jp/keisuketochio/

連絡先

メールアドレス	keisuketochio[アットマーク]funaisoken.co.jp	その他	
---------	---	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る